

令和8年度 学校だより

令和 8年 5月29日

6月号

鳥が丘



横浜市立鳥が丘小学校

感謝とともに

校長 高田 桂太郎

学校の中庭の紫陽花がきれいに咲いています。蒸し暑さを感じる日も増え始め、梅雨の訪れを予感させます。保護者の皆様、地域の皆様には、日頃より子どもたちの健康管理や安全の見守り等にご協力いただき、ありがとうございます。また5月の運動会では、練習期間中から様々な場面で支えていただき重ねて感謝申し上げます。

今年の運動会は、各クラスを三色に分けて行いました。ライバルどうしが同じ教室にいるので、喧嘩にならないか心配もしましたが、一人ひとりの成長の機会にしてほしいという期待が大きくありました。

全校練習の際、私は、子どもたちに「全力を出し尽くすには、全力で向かってくるライバルが必要です。だから仲間にはもちろんのこと、戦う相手にも敬意を。」という話をしました。これは、かつて私が出会ったある大学生から学んだ話がもとになっています。

私は担任時代に、教育実習生を受け持つことがありました。その実習生は柔道部の主将をしていたので、どうして試合で自分を負かした相手に礼ができるのか質問をしました。当時の私は、何事も勝ちたくてしょうがない性格で、自分を負かした相手に頭を下げるなど考えられなかったからです。実習生は「相手がいて初めて自分が強くなれるからです。だから相手に感謝を伝えるのです。」と言いました。彼の言う「強くなる」とは、人生に勝つために自分を鍛えるという意味だったのです。それ以来、私は勝負への価値観が変わりました。

人生100年と言われる今の時代を生きるとき、全勝を目指すのは少々重たく感じます。反対に勝っても負けても学びや感謝があり、気が付けば逞しく成長しているという人生を歩めたら「なんて幸せなのだろう」と考えます。

今回の運動会、子どもたちは一人ひとり全力で取り組んでいました。とくに応援団長はチームを盛り上げ最後まで全力でみんなを鼓舞し続けました。閉会式では、勝った団長は歓喜にあふれ、負けた団長は悔しさを滲ませていましたが、全員が胸を張り、堂々としていました。その姿は、とても頼もしく私の胸は感動でいっぱいになりました。

6月に入ると通常の学習活動が戻ってきます。水泳学習も始まり、気温の高い日も増えてきますが、子どもたちが、安全に安心して学習に取り組めるよう、職員一同、子どもたちを支えてまいります。保護者の皆様、地域の皆様、引き続き本校の教育活動にご理解とご協力のほど、どうぞよろしく願いいたします。